







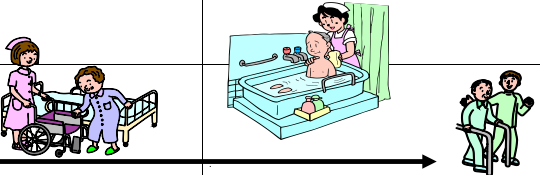




様 入院診療計画書 病名/症状( / ) [ 右・左 大腿骨頸部(内側・外側)骨折 ] (手術を受けられる患者様へ)

H 年 月 日 入院

	入院～手術前日( / )	手術日( / )・前	手術日・後	手術後1日目( / )	手術後3日目( / )	1週目( / )	2週目・転院日( / )
検査	採血、レントゲン、心電図、 などの検査をし、確認します 	手術着に着替えます ストレッチャーに乗り 手術室(5階)に行きます	手術室にてレントゲンを撮ります 酸素マスクをします (状況を見て外します) 傷口には管が入っています 背中から痛み止めを入れる 管が入っている場合もあります	ガーゼ交換をします (その後1週間は傷の状態により ガーゼ交換をします) 傷口の管を抜きます 背中からの管を抜きます ハドマー(血栓の予防の為)を 1日2回、1週間します(両足)		ガーゼ交換をします 傷口の糸を半分とります 翌日残りの糸とります	転院 
処置	洗腸をします ハドマー1回/日(骨折していない足のみ)						
足毛の処理	足の毛を剃ります 足の爪を切ります						
薬	眠れない時は安定剤の 内服があります 状況に応じ薬剤師がご説明に伺います	点滴をします (翌朝抜きます) 鎮痛、鎮静の目的で 肩に筋肉注射をします		抗生剤の点滴が 朝と夕にあります			
注射							
食事	手術前日の21時以降は 絶飲食です			朝から 食事ができます			
特別な栄養管理の必要性	有 ・ 無 (どちらかに○)						
清潔		タオルで体を拭きます			傷の確認後、シャワーに 入れます		
活動	ベッド上です 足を牽引することもあります 		ベット上安静です 手術した方の足の下に枕を敷き 挙上させていただきます	車椅子に乗れます 痛みの範囲内で 手術した足に体重を かけることができます。 			
排泄	ベット上で行います 状態をみて尿の管を入れます		手術中に尿の管が入ります (状況を見て抜きます)		トイレに行くことができます		
リハビリ	★「総合実施計画書」を作成し、ご説明の上リハビリを開始します						
総合的な機能評価	65歳以上、又は特定疾病を有する40歳から65歳未満の方は総合的な機能評価を行います						
看護計画	担当看護師が看護の計画についてご説明いたします						
説明	病棟看護師、手術室看護師より 手術についての説明があります		主治医より御家族の方へ 手術結果の説明があります 傷が痛む時は我慢せずに 看護師に言って下さい 痛み止めを使うことができます 手術した方の足の指が 動くかどうか 確認しましょう				
その他	深呼吸の練習をし 禁煙を心がけましょう						

※この計画書は患者様の状態に応じて変わることもあります。何か御質問がありましたら御気軽にお尋ね下さい。

平成28年 5月

\* 済生会福岡総合病院 TEL:092-771-8151 整形外科 11階病棟 理学療法士:溝口・野田

年 月 日

主治医< > 担当医< > 説明看護師< > 管理栄養士< > 患者様署名< >